

アス混合物の 事前審査対策説明

日合協近畿地区連絡
協議会ら技術講習会

日本アスファルト合材協
会（日合協）近畿地区連絡
協議会・大阪アスファルト

合材協会（八田邦裕会長）

は22日、大阪市中央区のエル・おおさかで「2025年度技術講習会」を開いた。写真。会員企業から約80人が参加し、アスファルト混合物の事前審査対策などについて説明を受けた。



冒頭、八田会長は「事前審査は受発注者双方の作業量を軽減するためのもので

ある。透明性や公平性を高めて新しい技術への対応を強化し、よりよい制度にしていきたい」と述べた。

講習では同協議会の奥村武技術委員（前田道路関西支店）が「事前審査受審の為の講習」と題して、指摘事項を減らすための留意点などを解説。日合協技術部会の江向俊文氏（前田道路）が「合材工場の低炭素化手法、中温化技術について」をテーマに、中温化混合物のメリットや技術の導入状況などを説明した。

